

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.55

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急医療対策事業	担当部署	健康福祉部 健康増進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市救急医療対策事業補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	昭和	52 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		保健・医療					
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	4	地域医療の確保					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無		<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無	
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市民が安心できる地域医療体制を確保する。	事業 内容 (R1)	①救急医療の現状や適正利用について市民に向け、消防予防課や医師会とも連携をしながら、積極的に啓発を実施していく。また、啓発活動として、出生届時に「小児救急ハンドブック」を引き続き配布する。 ②災害時の医療救護所のスムーズな設置に向けて、医師会等関係機関と協議し、設置候補地での実地研修を行う。 ③地震災害に特化した4者協定(医師会、歯科医師会、薬剤師会、市)について協議する。 ④平成27年度に購入した資機材の4年目点検を行う。	
実施方針	①夜間休日当番医制度の維持 ②二次救急・小児救急医療体制の確保 ③関係者会議の実施 ④適正医療に関する啓発		当初 からの 変更点	①地震災害に特化した4者協定については、災害時医療救護所設置候補地の見直しの作業が必要となったため、協定締結に至っていない。 ②休日当番日の増加や消費税増税により当初予算が不足し、流用対応を行った。

指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 啓発活動(出前講座・連携事業等)	1	1	3	3	3	回
	2						
成果指標		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
対象にどのような効果があつたかを示す指標	軽度の救急搬送率	37	36	36	35	35	%

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業の実施内容推移 各年度の実施(予定)内容	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	継続	継続	継続	継続

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	14,560	111	14,671	14,364	14,364

事務事業名	救急医療対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	<p>①救急医療の適正利用に関する啓発を消防予防課や医師会と連携して実施した。啓発活動として、「小児救急ハンドブック」を作成し、出生届時等に配布した。また子育て世代へ向けて「母と子の防災ハンドブック」を配布した。</p> <p>②GW10連休中の対応について医師会と協議し、医療の確保、市民への周知に努めた。</p> <p>③東部Ⅱ圏域災害医療訓練に参加し医師会等関係者と共に、発災時の医療救護所対応について机上訓練を行った。</p> <p>④平成27年度購入の医療救護資機材(4セット)の4年目点検を行った。</p> <p>⑤関係者会議として「鳴門市医療懇話会」を開催し、意見交換・情報共有を行った。</p>

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 啓発活動(出前講座・連携事業等)	1	1	3	3	3	回
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	軽度の救急搬送率	36	36	36	35	35	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0				%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計	14,279,492	0	14,670,144	0	14,670,144
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	350,000	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	13,929,492	0	14,670,144	0	14,670,144

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	軽度の救急搬送率		成果指標に対する所見	救急医療体制を持続していく上で必要な対応ができていないと考えるが、市民に対して、救急医療に関する情報提供や啓発活動を継続して実施することが必要である。		
	目標	36	%				
	実績	36	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の安心・安全を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていく必要がある。災害時の対応を含めた新型コロナウイルス感染症対策についても、医師会等関係団体と協議し連携していくこととする。				
----	--	--	--	--	--

今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
--------	------	-------	--------	------	---

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	<p>①救急医療の適正利用に関する啓発(「小児救急ハンドブック」や「防災ハンドブック」の配布等)を実施する。</p> <p>②医師会等関係機関と協議し、災害時医療救護所や新型コロナウイルス感染症対策について体制を整備する。</p> <p>③医療救護資機材の点検を行う。</p>
	令和3年度	令和2年度に継続して、医療機関と連携し、救急医療対策事業を実施。